

1 次素案（本編）に関する意見等

◎計画の基本事項

Ⅰ 計画の位置付けと策定の趣旨

◇概ね良い。

- （1 元気で魅力あるまち分科会）
- （2 笑顔で人が輝くまち分科会）
- （3 豊かで活力あるまち分科会）
- （4 安心で暮らしやすいまち分科会）

Ⅱ 計画の構成と期間

◇概ね良い。

- （1 元気で魅力あるまち分科会）
- （2 笑顔で人が輝くまち分科会）
- （3 豊かで活力あるまち分科会）
- （4 安心で暮らしやすいまち分科会）

Ⅲ 計画策定にあたっての基本認識

◇概ね良い。

- （2 笑顔で人が輝くまち分科会）

1 基本認識の総括

2 人口推計について

◇もっと高い目標としたらよいのではないか。

- （1 元気で魅力あるまち分科会）

3 財政指標について

◇「概ね健全な状況となっています」という表現に違和感がある。
（例えば、減少のような具体的な表現を入れたほうがいいのか。）

- （1 元気で魅力あるまち分科会）

2 実績と推計、基本的課題等

(3) 経済指標等

④有効求人倍率

◇有効求人倍率について

「ハローワーク能代管内の常用有効求人倍率（平成 29 年 5 月）は 1.46 倍で、県内 11 管轄中最も高い状況にあります。職種によって差があり、専門的職業の倍率が高い（最高 6.00 倍）一方、1.00 倍を割る職種もみられます。」に変更した方が良いでしょう。

平成 29 年 5 月で 1.54 倍とありますが、これは 4 カ月未満の臨時雇用や季節雇用を含んだ全数での求人倍率です。全国や都道府県レベルでは季節調整という統計上の修正を行った上で全数の求人倍率を公表していますが、ハローワーク単位では季節調整が困難なことから全数の有効求人倍率は参考程度とし、対外的な説明では全て原数値の常用有効求人倍率を用いています。

また、求人倍率の低い職種として事務的職業を挙げていますが、事務的職業においては希望する求職者が常に多いため地域や景気動向に関係なく求人倍率が低くなっており、特定して掲出する必要はないかと考えます。

参考：ハローワーク能代の常用有効求人倍率（平成 29 年 6 月） 1.52 倍

(3 豊かで活力あるまち分科会)

⑤新規学校卒業者就職率

◇能代山本の新規学校卒業者就職率は全県で最低となっているため、地元定着率が低い現状を市民に把握していただく必要がある。

(4 安心で暮らしやすいまち分科会)

◎基本構想

I まちづくりの基本姿勢

◇概ね良い。

- (1 元気で魅力あるまち分科会)
- (2 笑顔で人が輝くまち分科会)
- (4 安心で暮らしやすいまち分科会)

◇「更なる一歩を進める気概で」や「勇気を持って」、「対話を大切にし」、「ともに協力して」など、まわりくどい感じがする。シンプルにした方が伝わりやすくないか。将来を担う子どもにも伝わるようにという意見があった。

- (3 豊かで活力あるまち分科会)

II まちづくりの基本理念

◇「幸福共創」の単語をまちづくりの基本理念の最初に記述し、その後に内容を記述した方が良いのではないか。

- (2 笑顔で人が輝くまち分科会)

◇「幸福共創」は本文に入れるか、1 番上にもってきてはどうか。

- (3 豊かで活力あるまち分科会)

◇具体的な単語があれば、よりイメージがわくと思う。

「優れた地域資源」が漠然としている。具体例があれば分かりやすいのではないか。

- (1 元気で魅力あるまち分科会)

◇「市民生活の向上」を「維持・向上」に変えたらどうかとの意見があったが、「維持」だと何もしていないように見えてしまうマイナスなイメージがあるので、「向上」で良いのではという意見があった。

- (3 豊かで活力あるまち分科会)

◇「成長社会を前提とした、従来の価値観だけにとらわれない、こころの豊かさ、からだの豊かさ、ものの豊かさを目指して・・・」という表現が分かりづらいので、もう少し具体的に表せたらいいのではないか。

- (4 安心で暮らしやすいまち分科会)

III 将来像

◇概ね良い。

- (2 笑顔で人が輝くまち分科会)
- (3 豊かで活力あるまち分科会)
- (4 安心で暮らしやすいまち分科会)

◇具体的な単語があれば、よりイメージがわくと思う。

- (1 元気で魅力あるまち分科会)

◇「地域の誇り」と「生活の基盤」は、並べるものではないのではないか。

- (1 元気で魅力あるまち分科会)

IV 基本目標

◇概ね良い。

- (1 元気で魅力あるまち分科会)
- (2 笑顔で人が輝くまち分科会)

3 豊かで活力あるまち

◇3の「継続して発展」を「安定的に発展」の方が分かりやすすくないかという意見があった。

- (3 豊かで活力あるまち分科会)

◇「私たちは、優れた資源や環境を活かし・・・」を地域の資源など、もう少し具体的に載せてもいいのではないか。

- (4 安心で暮らしやすいまち分科会)

4 安心で暮らしやすいまち

◇「確かな生活基盤を持続できるよう、安心で暮らしやすいまちを目指します。」は、持続が目標となっており、さらなる発展を目指していくべきではないか。

- (4 安心で暮らしやすいまち分科会)

	V 政策の大綱 【今後の協議事項】
	VI 政策推進にあたっての方針 ◇概ね良い。 （1 元気で魅力あるまち分科会） （4 安心で暮らしやすいまち分科会） ◇1と2と同じようなことを言っているので、1つにまとめることが可能ではないかという意見があった。 （3 豊かで活力あるまち分科会） 2 横断的な連携の推進 ◇この方針があって安心した。横断的な連携が必要だという事に気づいた事が大事。これまでその視点がなかった。 （2 笑顔で人が輝くまち分科会） 3 持続可能な行財政運営の推進 ◇3の「選択と集中」という表現が、優先すべき課題ばかりに集中し、それ以外が切り捨てられるような片寄ったイメージがあるので、他の表現がないかという意見があった。 （4 安心で暮らしやすいまち分科会）
	◎基本計画 I 重点的かつ横断的な取組 ◇概ね良い。 （1 元気で魅力あるまち分科会） （3 豊かで活力あるまち分科会）

	○子どもを生み育てやすい環境づくり ◇子どもを主体的にした文章にした方がよい。例えば「子どもを～」ではなく「子どもが社会の中で元気に育ちやすい～」など。 (2 笑顔で人が輝くまち分科会) ○若者の定住につながる産業振興と雇用確保 ◇「計画策定にあたっての基本認識」では、「産業創出と雇用確保」とされており、産業の創出も大事だし、振興も続けていかなければならないので、両方の「産業創出・振興と雇用確保」とした方が良いのではないか。 (4 安心で暮らしやすいまち分科会) ◇企業（雇用確保）よりも起業、チャレンジできる情報発信、ネットワークを活用した若手企業者の発掘など、「若者の定住・起業を支援」のような表現にしたかどうかという意見があったが、雇用の確保は除くことができない（企業支援も含まれる）という意見もあった。 (2 笑顔で人が輝くまち分科会) ◇産・学・官の協働（キャリア教育、若者の定住にもつながる）を4つ目の項目として加える。 (2 笑顔で人が輝くまち分科会)
	II 体系図 【今後の協議事項】
	III 政策 【今後の協議事項】
	IV 計画の推進 ◇概ね良い。 (1 元気で魅力あるまち分科会) (2 笑顔で人が輝くまち分科会) (4 安心で暮らしやすいまち分科会) ◇PDCAサイクルのスパン（年数）を示してはどうかと意見があった。 (3 豊かで活力あるまち分科会)